



各 位

2019年5月13日

会 社 名 **株式会社 キッツ**
 代表者名 代表取締役社長
 堀田 康之
 コード番号 6498(東証第一部)
 問合せ先 広報・IR室長
 向井 真也
 Tel (043) 299 - 0142

配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、2019年5月13日開催の取締役会において、2020年3月期以降の配当方針を下記の通り変更することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 変更の目的

当社は、配当金を株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置づけております。この度の第4期中期経営計画(2019～2021年度)策定にあたり、配当による株主の皆様への利益還元を更に重視することといたしました。

2. 変更の内容

(下線部分が変更箇所)

変更前	変更後
<p>当社は、配当金を株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置づけております。当面の業績動向に加え、今後の事業拡大のための設備投資、開発投資、あるいはM&Aなどの資金に加え、借入金返済、社債償還のための資金ニーズにも対応すべく内部留保の充実を図りつつ、配当の継続性、安定性にも十分留意し実施したいと考えております。</p> <p>当面の配当性向といたしましては、<u>上記の趣旨を勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益の25%前後を望ましい水準としております。また、連結総還元性向の目標については、2016年に公表いたしました第3期中期経営計画において、従来の、親会社株主に帰属する当期純利益の3分の1前後から、自己株式の取得に更に積極的に取り組み、株主の皆様への利益還元をより一層充実させていくこととしております。</u></p>	<p>当社は、配当金を株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置づけております。当面の業績動向に加え、今後の事業拡大のための設備投資、開発投資、あるいはM&Aなどの資金に加え、借入金返済、社債償還のための資金ニーズにも対応すべく内部留保の充実を図りつつ、配当の継続性、安定性にも十分留意し実施したいと考えております。</p> <p><u>上記の趣旨を勘案し、連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準といたします。</u></p> <p><u>なお、自己株式の取得につきましては、中長期の成長のための必要な投資額等を考慮した上で、株式市場及び当社株価の動向、手元資金の状況等を勘案し、適宜検討いたします。</u></p> <p><u>今後も、株主様への利益還元をより一層充実させてまいります。</u></p>

3. 適用時期

2020年3月期の中間配当より適用いたします。

(2019年3月期の期末配当は、変更前の配当方針に基づき実施いたします。)

以 上